



新年度に向けて

◆ 2021年を終えるにあたり

新型コロナウイルスの発生から約2年が経過し、現在世界では変異株であるオミクロン株が猛威を振るっています。対岸の火事ではなく、各自ができる感染症対策を継続して講じましょう。2021年は残りわずかとなりました。来年こそは今より少しでも明るい年に、また皆さんにとってさらなる飛躍の年となることを切に願います。

◆ 新年に願う

古来より人間は一方的な時の流れに暦（こよみ）で区切りをつけ、「未来に備えるための時間」としての意義を宿してきました。1年の計は元旦にありと言うように、清廉な年の初めは心新たにスタートする絶好の機会です。

1年生の皆さんにとって、今年の大きな出来事は高校入学であったかもしれません。昨今の頃は中学校の懇談会で高校入試を話題とし、3月には人生で初めての入学試験にチャレンジしました。そうして自分の意志と努力で勝ち取った本校への合格は、皆さんに自信を与え大きく成長させました。入学後はタブレット端末を使用した学び、模擬試験、文理選択など多様な学習が本格化し、今年度は残り3ヶ月を迎えています。いま、2年生となる新年度を前に、ここで高校入学当初の期待や抱負を思い起こし、あらたな決意で新年を迎えましょう。

2年生の皆さんにとって最終学年となる新年は、誰にとってもさまざまな労苦が待ち受けています。課外活動をはじめ、生徒会活動、そして教科学習は大詰めを迎えます。自分の人生の方向を自分の責任で定めていく、とりわけ重要な1年間がはじまります。皆さん一人ひとりのもつ感受性と理想とを胸に、たくましく歩むことを願っています。

◆ 12/25（土）～1/5（水）冬季休業【12日間】

まず、まとまった休業でしっかりと心と体を休め、新年の英気を養いましょう。そこから生まれた活力を、学力の回復と伸長に活用しましょう。三者懇談や11月模擬試験の結果から、自分がいま取り組むべき教科・分野などを考えてみましょう。

【冬休みの過ごし方のポイント】

- ・2年生は国語・数学・英語の総復習をスタートする。
- ・実力テスト、記述模試を目標に学習計画を立てる。
- ・課題は年内に終わらせ、苦手分野の学習を集中的に行う。
- ・生活記録をつけ、自己管理を徹底する。



保護者の皆様へ

懇談会へのご来校、ありがとうございました。大きな期待を胸に本校へ入学した生徒たち、その進路実現に向けて私たち教職員も精一杯努力して参ります。今後とも、保護者の皆さまにはご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。 **どうぞ よいお年をお迎えください**

1月の目標

1年生 清廉な心持ちで目標を定め、新しい年をスタートする

2年生 共通テスト試験まであと1年！3年ゼロ学期を邁進せよ

◆始業式・実力テスト…1/6（木）7（金）

吉田高校の元日は1/6（木）です。実力テストで気持ちの良い1年のスタートを切りましょう。

◆サタデーセミナー…1/15（土）内容は各学年から連絡があります。

◆大学入学共通テスト試験…1/15（土）16（日）

本校3年生260名が、全国では約53万人（下表）が受験します。「共通テスト試験」は、一昨年までの「センター試験」と位置づけとしてはほぼ同じで、今回2年目を迎えます。国公立大の一般入試受験者は必ず受けなければならない試験であり、推薦や総合型選抜でも受験が必要な場合もあります。また、私大でもほぼ9割近い大学が共通テストの成績を利用した入試を行っているため、大学入試一般受験の受験生ほぼ全員が受験する国内最大のテストということになります（裏面を参照してください）。翌17日には自己採点を行い、全国動向を見ながら国公立大学の出願校を決定します。いよいよ本格的な受験シーズンのスタートです。

【令和4年度大学入学共通テストの志願者数】

○志願者数 530,367人 対前年度比 4,878人減

区分	志願者数	比率
高等学校卒業見込者（現役生）	449,369人	84.7%
高等学校等卒業生（既卒・浪人生）	76,785人	14.5%
その他（高卒認定等）	4,213人	0.8%
合計	530,367人	100%

◆2学年共通テスト体験…1/17（月）

2年生は今回の共通テスト試験問題（英数国3教科）にチャレンジします（そのため、事前に新聞やインターネットなどで問題や解答は見ないでください）。この3教科の出題範囲の多くは高校1,2年生で履修済みですから、今回の目標得点率は50~60%としましょう。自分の現時点での実力を知り、これからの対策を練りましょう。大丈夫、いまならまだ1年間あります。

◆進研記述模試…1/22（土）

配布済みの合格ラインで志望校の平均SS・目標得点を確認しておくこと。

今月の3年生

共通テスト試験まで約3週間！当日に向けた最終調整の時期、復習を中心とした最後の総仕上げに励んでいます。ガンバレ、3年生！



1月	
1土	○ 元日
2日	○
3月	○
4火	○ 共通テスト模試[3]
5水	○
6木	▲ 始業式 実力テスト ☆
7金	▲ 実力テスト
8土	○ ※
9日	○
10月	○ 成人の日
11火	A
12水	A
13木	A
14金	A
15土	○ S ※
16日	○ 大学入試共通テスト ※
17月	B 自己採点[3] 共通テスト体験[2]
18火	B
19水	B
20木	B
21金	B
22土	○ 小論文模試[3] 進研記述[1・2] ※
23日	○
24月	A
25火	A
26水	A
27木	A
28金	A
29土	○ ※
30日	○
31月	B

共通テストについて理解しよう

大学入学共通テストは国公立大のすべてと私立大の約9割が利用し、志望校合格のカギを握る共通試験。まずは、どのような試験なのか、基本を知っておくことが攻略への第一歩です。

◆日本最大規模の試験「共通テスト」

共通テストの正式名称は「大学入学共通テスト」で、各大学が独立行政法人「大学入試センター」と共同で実施する試験です。2020年度入試まで30年にわたり実施されてきた「大学入試センター試験（以下、センター試験）」の後継にあたる試験で、昨年度入試から実施されました。センター試験と同様、毎年1月中下旬の土・日曜の2日間に全国で一斉に実施される、日本最大規模の試験です。

◆国公立大の全て、私立大の9割が利用する共通試験

国公立大学の一般選抜受験者は、原則共通テストを受験しなければなりません。また、多くの私立大学でも共通テストの成績を利用する「共通テスト利用方式」を設定しています。大学進学を考える受験生にとって、この共通テスト対策は必須といっても過言ではありません。

国公立大の一般入試は原則、共通テストと大学ごとの個別（2次）試験の総合点で判定されます。また、推薦・総合型選抜で共通テストを利用する大学も増えました。共通テストと個別試験の配点比率は大学・学部で異なりますが、共通テストで高得点が取れば大概有利です。大学によっては、志願者数が指定の基準を超えた場合に共通テストの成績で第1段階選抜が行われ、その合格者のみ個別試験を受けられるケースもあります。私立でも、約9割の大学が共通テストを利用する入試方式を、大学独自の入試とは別に行っています。（※ちなみに、今年度共通テスト利用大学・専門職大学・短期大学数は864大学です。）「共通テストのみ」と「共通テスト+独自試験」で選抜する方式があり、前者の方式の大学が多いです。

◆6教科30科目の中から選んで受けるマーク式テスト

共通テストの出題科目は、国語・地理歴史・公民・数学・理科・外国語の6教科30科目で構成されます。この中から、最大8科目（理科①を選択した場合は9科目）を受験できます。受験生は、志望大学が指定する教科・科目を選択して受験することになります。それぞれの試験時間帯で受験できる科目は、地理歴史・公民と理科は最大2科目（理科①を選択した場合は3科目）、そのほかの教科は1科目となっています。

◆どの科目を受験すればよいの？

共通テストでどの科目を受験すればよいのか？これはみなさんが受験する大学によります。合否判定に用いる共通テストの教科数や指定教科（科目）は大学により異なるのです。

受験に必要な教科数は、国公立大学では多くの大学が5教科以上、私立大学の共通テスト利用方式では2～3教科が一般的です。指定教科（科目）も、大学により異なりますが、理科や地理歴史・公民などは受験生の勉強科目に応じて受験できるよう複数科目から自由に選択できる場合が多くなっています。ただし、学部・学科の性質上、特定科目を必須とするケースも見られます。

科目選択時に注意しなければならない科目は、「英語以外の外国語」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「簿記・会計」「情報関係基礎」「地歴A（世界史A・日本史A・地理A）」です。これらを出題科目として指定しない大学が多く見られるためです。また、公民の「現代社会」「倫理」「政治・経済」も、旧帝大などの難関大学では受験できないケースが見られる科目です。

◆とくに注意が必要な理科の選択方法

理科についてはとくに注意が必要です。受験科目は共通テスト当日に問題を見てから決めることもできますが、A～Dのどのパターンで受験するかについては出願時に申請する必要があります。

国公立大学の理系学部では、理科①を認める大学はほとんど見られません。また、理科を2科目必要とする大学も多いですから、国公立大学の理系学部を志望するならDパターン、つまり理科②を

2科目選択しておくべきでしょう。一方、国公立大学文系学部では、理科①2科目または理科②1科目で受験できる大学がほとんどです。ただし、東京大学や京都大学などのように、理科①、理科②のいずれを選択した場合も2科目を必要とする大学があります。このため、Aパターン、つまり理科①2科目を選択しておくべきでしょう。私立大学に関してもやはり、理系は理科②、文系は理科①と考えておけばよいでしょう。（※大学によっては「物理基礎」と「物理」のように同一名称を含む科目での受験を認めていない場合があります。）

● Aパターン…理科①から2科目
例) 物理基礎+化学基礎

● Bパターン…理科②から1科目
例) 物理

● Cパターン…理科①から2科目及び理科②から1科目
例) 物理基礎+化学基礎、物理*

● Dパターン…理科②から2科目
例) 物理、化学

◆第1解答科目指定とは？

地理歴史・公民、理科②において、教科内で1科目のみを合否判定に利用する大学では、2科目受験した受験生の成績は高得点の科目ではなく、第1解答科目（理科②、地理歴史・公民で1科目めに受験した科目）を指定するケースがあります。

とくに、国公立大学では多くの大学が第1解答科目を利用するほか、私立大学でも難関大学を中心に第1解答科目を利用します。どの順番で解答するかは共通テスト当日に自由に選べるため、得意科目を第1解答科目で解くのが基本です。ただし、なかには特定の科目を第1解答科目に指定する大学もあります。（※大阪大学経済学部は地歴を第1解答科目に指定しています。）志望校が特定の科目を設定している場合は、それに従って受験しなければなりません。志望校の利用方法について確認しておきましょう。

係補足

◆試験場の指定

共通テスト試験は出願後に各地区の受験生の性別や登録科目によって試験場を指定し、返送する受験票に明記します（変更不可）。今回、本校3年生は右のように4会場へ分散して指定されました。

	男	女	総計
信大教育学部	1	7	8
信大工学部	48	34	82
長野県立大	13	43	56
長野保健医療大	49	65	114
	111	149	260

◆今後の共通テスト実施日

文部科学省は大学入学共通テストの実施期日を「1月13日以降の最初の土曜日及び翌日の日曜日」と定めています。よって、2年生のみなさんの受験日はすでに下記のように決まっています。

現2年生（来年度3年生）2023年1月14日（土）及び15日（日）